

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和2年5月29日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから5月29日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは広報日程の前に、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応、緊急事態宣言の解除に伴う見直しの内容につきまして、御説明いたします。

昨日の原子力規制委員会で私から報告して、了承されたものがございます。その結果を踏まえまして、6月1日、後ほど申し上げますが一般傍聴につきましては6月3日からですが、原則として6月30日までの間、対応をまだ続けたいと思っております。

(1) にごさいますとおり、まず定例会ですけれども、通常のカ開催頻度、毎週水曜日に戻して開催したいと考えております。一般傍聴につきましては、感染症対策を講じた上で再開することといたします。具体的には、傍聴席の間のカ間隔を空けるために、座席数を限定することとなります。もし傍聴希望者が多数の場合には抽選を行いますので、傍聴を希望される方につきましては、これまでどおり傍聴登録をお願いいたします。

また、当日に発熱や体調に不調のある方については来訪を御遠慮いただくとともに、マスクの着用、手の消毒への協力もお願いするところがございます。

プレスの皆様につきましても、席の間隔を空けるために座席数の限定をせざるを得ません。会議室の取材は原則1社1名、撮影の方は除きますけれども、なるべくそのことに御協力のほどお願いいたします。

(2) 規制委員会の定例会見でございますが、これも開催日、毎週水曜日に合わせて開催いたします。開催場所ですが、座席の席間を確保するために、引き続き13階で行います。また、人数把握のための事前登録も行いますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

(3) 定例ブリーフィング、私のブリーフィングも委員会が毎週1回に戻りますので、通常のカ開催頻度、火、金に戻して開催させていただきます。

最後です。(4) 審査会合、検討チーム会合です。原則としてウェブ会議システムを用いて実施し、その状況を生中継、場合によっては一部録画配信することといたします。これまで月、火、木で集中開催をしておりましたけれども、その運用は終了し、平日は全て開催できるものはするというにいたします。

審査会合、検討チーム会合につきまして、一般傍聴、プレス関係者席の取扱いにつきましては、委員会と同様といたします。

先ほど冒頭で申し上げましたが、一般傍聴の受付のうち6月1日と6月2日の会合につきましては、ちょっと時間が足りませんので一般傍聴はなしとさせていただきたいと思っております。

また、以上の対応でございますけれども、現下の状況を原則とした対応でございます。3週間ごとの見直しの中で、各種制限の要請が緩和されましたら、それを踏まえまして随時また対応を変えてまいりたいと思っております。御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス関係の解除に伴う対応の見直しにつきましては以上です。

それでは、広報日程に従いまして、補足説明をいたします。今日は2番の審査会合の関係から参ります。

6月1日月曜日、(1) 第4回経年劣化管理に係るATENAとの実務レベルの技術的意見交換会。こちらの対応は森下原子力規制企画課長となります。

議題ですけれども、5月22日の第3回意見交換会で意見交換した事項が3点ございました。具体的にはプラント長期停止期間中の保全、もう一つが重大事故環境下でのケーブルの絶縁特性の分析、もう一つは中性子照射のコンクリート強度への影響、これら3点の事項につきまして、第3回に続いて説明を受けるものです。

続きまして、その下です。(2) 第352回核燃料施設等の新規規制基準適合性に係る審査会合。議題は2つございます。

議題の1つ目です。日本原燃MOX燃料加工施設の事業変更許可に関しまして、まとめ資料における重大事故選定の方針について説明を受けるものです。

続きましてその下、議題2です。これは日本原燃再処理施設の設計工事計画認可に関しまして、今後の作業スケジュールについて事業者より考え方の説明を受けるものです。

続きまして、その下です。6月2日火曜日、(3) 第864回原子力発電所の新規規制基準適合性に係る審査会合。これは、サイトとしましては大きく2つに分かれております。

1つ目は、東京電力柏崎刈羽原子力発電所の保安規定変更認可に関しまして、昨日の委員会で議論された結果を事業者に伝達するとともに、併せて重大事故時の体制の整備について説明を受けるものです。

もう一つですが、こちらは関西電力高浜発電所1号機、2号機の設置変更許可に関しまして、使用済燃料プールの未臨界について、昨年7月9日と昨年12月17日の会合のコメント回答を受けるほか、設計工事計画認可について規制庁から説明があるものです。

続きまして、1枚おめくりください。一番上から参ります。6月3日水曜日、(5) 令和2年度原子力規制委員会行政事業レビューに係る公開プロセス。こちらの対応は片山次長、会計の伊藤参事官、村山政策立案参事官となります。議題1と2を合わせて御説明いたしますと、今年度の行政事業レビューにつきましては、公開プロセス対象事業として原子

力規制人材育成事業、もう一つは東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業に係る安全研究事業、これら2つが選定されました。これら2つの事業につきまして、それぞれ議題1と議題2に分けて外部有識者の皆様により議論が行われるものです。

その下になります。6月4日木曜日、(7)第865回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。議題は大きく2つございます。

議題の1つ目です。東北電力東通原子力発電所1号機の設置変更許可に関しまして、地震動評価に係る地下構造についての昨年12月6日の会合のコメント回答を受けるものです。

もう一つ、議題の2つ目ですけれども、日本原燃敦賀発電所2号機の設置変更許可に関しまして、ボーリング柱状図の変更についての2月14日の会合で規制庁が説明を求めた事項について回答を受けるものです。

続きまして、その下です。6月5日金曜日、(9)第20回原子炉安全専門審査会・第26回核燃料安全専門審査会。こちらは櫻田原子力規制技監の対応となります。

議題は大きく7つございます。それぞれ御説明いたしますと、議題の1つ目は、原子炉火山部会の委員の指名と部会長の互選になります。

議題の2つ目は、同じく原子力火山部会の活動状況について報告をするものです。

議題の3つ目は、技術情報検討会において行われているスクリーニングや情報収集の状況につきまして報告をするものです。

議題の4つ目は、昨日の委員会で報告のありました一相開放故障事象の国内対応状況について報告をするものです。

議題の5つ目は、内閣府が4月に公表した巨大地震モデルの概要報告について、5月11日の技術情報検討会で検討した結果を報告するものです。

議題の6つ目は、本年1月に行われたIRRSフォローアップミッションの結果を報告するものです。

最後です。議題の7つ目は、原子力規制検査の検査官の育成の状況等について報告を行うものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

○記者 河北新報のヤマガタです。よろしく申し上げます。

1日の核燃のほうの審査会合で、原燃のほうから設工認の作業スケジュールを聞くということだったのですけれども、具体的にというか、どういうことを想定されているのかを教えていただいてもよろしいですか。

○児嶋総務課長 今後、設工認が始まって、結構作業が膨大になりますので、どのような考え方で彼らが作業を進めていくのかということについて説明を受けるものです。

○司会 よろしいですか。

○記者 はい。

○司会 ほか、ございますか。

フクオカさん。

○記者 日本経済新聞のフクオカです。

ここに載っている会合の中で、テレビ会議以外でのやり方で、対面でやる会議はありますでしょうか。

○児嶋総務課長 今回、ここに載っているものは全てテレビ会議を考えております。

○記者 5日の(9)の炉安審と燃安審は、いろいろな場所にいる先生方が委員だと思うのですけれども、その皆さんをネットでつないで会議するということがよろしいのですか。

○児嶋総務課長 おっしゃるとおりで、二十数人の方の多元中継になる予定です。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。

ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日のヨシノです。

6月2日の柏崎刈羽で、保安規定についてはある程度分かるのですが、緊急事態時の体制整備というのは何を意味するのでしょうか。

○児嶋総務課長 通常の審査の中で重大事故が起きたときにどのような体制を取るのかということについて、一定の普通の審査での過程で話を聞くものです。

○記者 ほかの会社と同じような手続ということですね。

○児嶋総務課長 そういことです。

○記者 同じく日本原燃の設工認に関して、今後のスケジュールということなのですが、要はポイントになっているのは、原燃さんが来年の9月までに竣工すると言っているものが現実性を帯びるものなのかどうかというところがポイントになっていて、今日の青森のほうの会見でも言を濁していたらしいのですけれども、その辺も含めてちゃんと説明をしてもらおうということですか。

○児嶋総務課長 現時点で私はそこまでは把握しておりません。そのような話が出るかもしれませんが、ちょっと私は今、承知しておりません。申し訳ありません。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

お疲れさまでした。

